

平成31年度
公益財団法人山口市文化振興財団
事業計画

平成31年3月

I 基本目標

山口市から管理運営の指定を受ける山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて各施設の持つ特性を生かしながら、さまざまな文化に触れる機会、参加する機会などを提供する企画事業を実施し、山口市における文化振興の一翼として、文化を育むまちづくりに寄与するよう努める。

II 基本方針

市民自らが多様な文化活動へ参加し、芸術文化を享受できる文化環境づくりを目指し、鑑賞、参加型及び創造型の企画事業を展開するとともに、広く文化に関する情報を収集し提供する。また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を促進、支援するための事業を行う。

なお、これらの事業を実施するにあたって、単年度計画に基づく事業計画の策定及び事業の実施という形態のみでなく、長期的視点からの事業計画や新たな発想による事業展開をめざすとともに、これに基づく具体事業の年次的実施による事業内容の充実に向けた取り組みを推進する。

III 個別事業計画

定款第4条に掲げる6事業のうち、企画事業、育成・支援事業、調査研究事業、情報収集・提供及び施設の管理運営受託事業については、以下のとおりとする。

1 企画事業

当財団が所管する山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を生かしながら文化振興に関する各種企画事業を実施し、文化に触れる機会、参加する機会などの拡充を図るとともに、事務局においては、幅広い市民の皆様が楽しめる娯楽性の高い事業の企画展開を図る。

(1) 事務局

山口市市民会館、山口情報芸術センター等、市内の文化施設を活用し、広域的かつ幅広い年齢層を対象にしたポピュラー音楽などのコンサート、舞台芸術などの公演を実施する。

(2) 山口市市民会館

オーケストラや演劇公演など質の高い鑑賞機会の拡充、また伝統芸能の理解を深めていただく公演の開催を目指すとともに、市民参加型のコンサートの開催など市民に多様な芸術文化の鑑賞機会を提供する。

(3) 中原中也記念館

中原中也を軸として、その軌跡や親交のあった人物を紹介するテーマ展示や企画展、特別企画展を実施するとともに、中也の人と作品を分かりやすく解説し、理解を深める一助として、講演会や学芸担当職員による読書会を開催する。また、中也が好んだ〈朗読〉をテーマにした市民参加型イベント〈生誕祭〉を実施する。本年は開館 25 周年となることから、これまでの展示や資料収集・保存に関する実績の紹介とともに、新たな文学表現の可能性を探る展示やイベントを行い、新たな魅力を発信する。

(4) 山口情報芸術センター[YCAM]

YCAM は、メディアと芸術の融合をコンセプトに先端的な芸術表現に取り組むアートセンターとしての独自性を維持しつつ、文化施設の役割である「文化の振興」を担うべき市民との関わりを意識した事業展開を進める。

○ 「YCAM でなければ生み出せないオリジナル作品の制作」

メディア・テクノロジーを応用したオリジナルの作品を制作・発表することを重視することで、これまでも国際的に高い評価を得てきた。“新しい価値の創造”が市民から関心と理解を得られるよう、分かりやすさの工夫と、身近で社会性のある題材をテーマに取り組む。

○ 「メディア・テクノロジーと市民をつなぐ教育プログラムの提供」

芸術分野に留まらず、メディアを取り巻く様々な環境を包括した「学び」を広く提供するため、運営体制や人材育成を市民レベルに広げ、教育ワークショップを始めとする様々な事業を施設内外で展開していく。

○ 「地域の課題や資源とメディア・テクノロジーの融合」

さまざまなかたちで蓄積したメディア・テクノロジーにまつわる知識や経験を、山口の地域課題や資源に結びつける取り組みを重視していくとともに、市民のものづくり活動を積極的に支援していく。

2 育成・支援事業

財団友の会会員へのサービス向上を図るとともに、組織の拡充に努める。

また、市民が日常的に文化に触れ、あるいは文化活動に取り組む機会の拡充を図るため、市民の自主的な文化活動に対し助成金を交付し、側面的に支援する事業を継続実施する。

(1) 友の会の拡充と運営

公益財団法人山口市文化振興財団友の会「Ars Nova Yamaguchi」(呼称:エニー)の会員について、既加入者の継続加入及び新規加入の促進を図る。

① 会員期間

入会日から翌年の入会月末まで

② 会員種別

種 別	対象者	入会金(更新時には不要)	年会費
個人会員	個人	500円	1,500円

③ 会員特典

- ・チケットの先行予約及び割引購入
- ・情報誌(4・7・10・1月発行)及び催物案内(毎月末)の定期送付
- ・入会時及び更新時に YCAM シネマ及び中原中也記念館の招待券進呈
- ・協賛店での優待あり

④ 会員数の推移(件数)

種 別	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
個人会員	965	856	944	935	905	880※

※3月15日現在

(2) 市民文化活動支援事業助成金交付事業

営利を目的としない市内の個人及び団体等が行う文化事業に助成支援するため、平成9年度に創設した「公益財団法人山口市文化振興財団市民文化活動支援事業」を継続実施する。

また、市報への掲載等による広報を行い、より多くの市民の自主的かつ創造的な芸術文化活動を支援する。

① 募集期間

平成31年3月1日～3月31日

② 助成金額

一事業につき50万円を上限

③ 審査方法

審査委員会の設置、開催

④ 申請及び採択件数の推移 ()内は中也における文化振興事業数

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
申請件数	16	26(3)	18	12	17	14
採択件数	16	21(3)	17	11	17	14

3 調査研究事業

(1) 中原中也研究

関係資料の調査、収集、修復、複製の製作等により、中原中也研究を推進する。

(2) 自主企画事業に関する調査及び研究

公演ごとのアンケート調査を随時行い、事業企画に対する市民ニーズ等の調査研究を進める。事業成果のまとめとしてドキュメント制作、展示・公演記録や、ワークショップパッケージ等のパブリシティに関わる作業を行う。

4 情報収集・提供事業

(1) 情報誌「any」の刊行

平成9年1月から刊行している情報誌を年4回(季刊)、継続刊行する。

(2) 山口市民会館催し物案内の発行

市民会館における催し物を紹介案内する広報紙を月1回、継続発行する。

(3) 中原中也記念館 館報第25号の発行

活動記録、寄稿文等を掲載する館報を年1回、継続発行する。

(4) 機関紙「中原中也研究」第24号の刊行

研究論文、エッセイ、シンポジウム記録等を掲載する機関誌を年1回、継続刊行する。

(5) 山口情報芸術センター催し物案内の発行

山口情報芸術センターにおける催し物を紹介案内する広報物を継続的に発行する。

(6) ホームページの充実

財団及び山口情報芸術センター、中原中也記念館、山口市民会館のホームページにより、イベント情報を随時発信する。また、平成19年4月からは財団の主催・共催公演に関して、財団及び山口情報芸術センターのホームページからもチケット予約ができるシステムを整備、友の会への入会・更新もホームページ上から手続き可能となっている。

5 施設の管理運営受託事業

当財団が所管する山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターの管理運営において、「安全、安心、快適」に利用していただけるよう適切な業務を行う。

また、山口市民会館、山口情報芸術センターにおいては、市条例に基づいた施設の貸与事業を行い、利用者のニーズを踏まえた施設運営に努める。

6 企画事業一覧

財団事務局

事業名	開催時期	内容
第 24 回中原中也賞贈呈式・記念講演	4 月 29 日(月・祝) 湯田温泉ユウベルホテル松政	新鮮な感覚を備えた優れた現代詩の詩集に対し中原中也賞を贈り、詩を通じて豊かな芸術文化意識の向上を図ります。24 回目となる今回は、公募・推薦の詩集 218 冊の中から井戸川射子(いどがわいこ)さんの詩集『する、されるユートピア』が選ばれ、贈呈式を開催。贈呈式後には、講師をお招きし、記念講演を開催します。
オペラシアターこんにやく座 オペラ「銀のロバ」	7 月 7 日(日) 山口市民会館	認定 NPO 法人こどもステーション山口との共催事業。親子で楽しめるオペラ公演を上演します。わかりやすい明瞭な日本語のオペラを全国各地で上演するオペラシアターこんにやく座が、オーストラリアの児童文学者ソーニャ・ハートネット原作『銀のロバ』をオペラ作品として舞台化。戦地を逃れた異国の兵士が、森の中で出会った姉妹とともにめぐる物語です。
オフィス3〇〇 新作舞台「私の恋人」	8 月 15 日(木) 山口市民会館	劇団・オフィス 3〇〇(さんじゅうまる)を主宰する、劇作家・演出家・女優の渡辺えりが演出を手掛ける新作舞台公演。出演は、かねてから渡辺と親交のある小日向文世、のん、そして渡辺えりの 3 名。上田岳弘が 2015 年に発表し、三島由紀夫賞を受賞した同名原作をベースに、渡辺えり流の切り口で贈る音楽劇。時を超え、性を超え、物理も超えて 30 の役をたった 3 人で演じます。
スイッチ総研 「あなたの知らない夜の YCAM」(仮)	8 月 23 日(金)・24 日(土) 山口情報芸術センター	場所の持つ特性を使い、その瞬間にしか生まれ得ない唯一無二の小さな演劇を作り出すスイッチ総研。全国各地で「スイッチ」=「鑑賞者がスイッチを押すと始まる 3 秒～30 秒の演劇」を創作・発表している話題の集団、スイッチ総研が、YCAM を舞台に新作の「ツアー型スイッチ」を上演します。また出演者の公募も予定しています。

事業名	開催時期	内容
戸田恵子一人芝居「虹のかけら～もうひとりのジュディ」	12月8日(日) 山口市民会館	女優、声優と幅広いジャンルで活躍する実力派・戸田恵子による一人芝居。ミュージカルスター、ジュディ・ガーランドの付き人として、専属の代役として、長年に渡って影のように寄り添った一人の女性、知られざるジュディ・シルバーマンの物語。演出を手掛けるのは戸田の魅力をよく知る演出家・三谷幸喜。2018年東京公演は即日完売、大好評で幕を閉じた話題作を上演します。
上原ひろみジャズコンサート	12月19日(木) 山口市民会館	ニューヨークを拠点に活躍するジャズピアニスト・上原ひろみによるソロコンサート。2003年、アルバム「アナザー・マインド」で鮮烈なワールド・デビューを飾り、その後もジャンルを飛び越えたエネルギッシュな音楽性は、各方面から熱い注目を集め、「21世紀にもっとも期待される才能」と言われる上原ひろみが山口市に初登場します。

山口市民会館

事業名	開催時期	内容
特撰落語会 三遊亭小遊三・三遊亭円楽・柳家花緑	4月28日(日) 14:00 開演	人気テレビ番組「笑点」でおなじみの三遊亭小遊三・三遊亭円楽・柳家花緑による落語会です。
宝くじおしゃべり音楽館	10月12日(土) 午後開演予定	春風亭小朝の司会進行と、小原孝及びおしゃべり音楽館ポップスオーケストラの演奏により、名画で使用されたテーマ曲・挿入曲・クラシックの名曲を披露します。曲間に2人の音楽や仕事上のエピソードなど楽しい“おしゃべり”を交わします。 第2部では、小原孝・島田歌穂及びオーケストラによる共演の他、地元合唱団との共演を行います。

事業名	開催時期	内容
夏井いつき 句会ライブ	11月16日(土) 午後開演予定	人気テレビ番組「プレバト!!」の「俳句の才能査定ランキング」の辛口コメントと見事な添削で有名な俳人「夏井いつき」先生による句会ライブです。
ディズニー・オン・クラシック 2019 (仮)	11月23日(土・祝) 午後開演予定	ディズニーの輝く名曲の数々を、プロドゥエイで活躍するヴォーカリストの歌声とフルオーケストラの演奏で贈る、大人のための音楽会です。
開運!なんでも鑑定団 出張鑑定大会	12月15日(日) 午後開演予定	人気テレビ番組「開運!なんでも鑑定団」のコーナー「出張鑑定大会」の公開収録、お宝の鑑定を行います。 放送時の冒頭では、収録地の歴史や名産品などをVTRで紹介します。
第24回ニューイヤーバンドフェスティバル 2020	2020年1月18日(土) 10:00 開演予定	山口県吹奏楽連盟加盟団体が、平素の練習成果を発表するとともに、他団体の演奏を聴くことにより、演奏技術ならびに音楽表現力の向上を深め、あわせて各団体の親睦を図るためのコンサートです。
NHK 全国放送公開番組 (仮)	2020年3月8日(日) 開演時間未定	地域の活性化と地域文化の振興を目的とした、「NHK 全国放送公開番組」を実施します。
第47回市民コンサート	2020年3月20日(金・祝) 13:00 開演予定	年度内に開催された各種コンサートにおいて優れた成績を収めた方々や、平素から熱心に音楽活動を続けている方々を招いての“アンコールコンサート”です。

中原中也記念館

事業名	開催時期	内容
第16回テーマ展示 「四季詩集—中也とめぐ る春夏秋冬」	2月20日(水)～2020年2 月11日(火・祝) ※特別企画展会期中を除く	<p>中原中也は生涯に360篇ほどの詩を作りましたが、そのなかには季節に触れたものが数多くあります。そこで中かがうたったのは、四季それぞれが持つ風情と、それによってわきあがるさまざまな感情でした。生きることと詩作が強く結びついていた中かにとって、その時々季節の感触は、詩にうたう思いを生き生きと伝える上で重要な要素であったといえるでしょう。</p> <p>本展では、季節にかかわる中かの作品を集め、あわせて書簡などからわかる季節ごとの中かの暮らしを紹介しします。</p> <p>※第17回テーマ展示「教科書で読んだ中かの詩」(仮) 2020年2月14日(金)～2021年2月中旬</p>
特別企画展 「富永太郎と中原中也」	8月1日(木)～9月23日 (月・祝)	<p>中原中也は17歳の時、6歳年長の詩人画家・富永太郎と出会います。フランス詩に造詣が深く、詩や絵画の創作に才能を発揮した富永は、詩人を志す中かにとって仰ぎ見るような存在でした。二人は、互いに惹かれ合いながらも嫌悪が混じり合う複雑な交友を結びます。しかし、富永は病魔に襲われ、二人に永遠の別れが訪れます。</p> <p>硬質で理知的な散文詩の世界を展開した富永。富永を通してフランス象徴詩を知り、やがて独自の抒情詩を追求していく中か。</p> <p>本展では、県立神奈川近代文学館所蔵の富永太郎資料を中心に、二人の関係性や詩の特性に迫ります。</p>

事業名	開催時期	内容
<p>企画展 「沸騰する精神 —— 詩人・上田敏雄」</p>	<p>4月17日(水)～7月28日(日)</p>	<p>明治33年、現在の山口県防府市に生まれた上田敏雄は、慶応義塾大学文学部英文科在学中に詩壇に登場、昭和3年に、弟の保、北園克衛と連名で、日本初のシュルレアリスム(超現実主義)宣言を発表します。そして、昭和4年には詩集『仮説の運動』を刊行し、大きな反響を呼びました。その後中断を経て、昭和20年代に詩の発表を再開。昭和57年に81歳で亡くなるまで、新作を発表し続けました。中也とは、昭和6年に入学した東京外国語学校の同級生の間柄で、中也は詩集『山羊の歌』を上田に献呈しています。本展は、絶えず変化し、常に新しい詩精神によって詩をつくり続けた詩人・上田敏雄の全貌を、貴重な直筆資料の展示を中心に紹介します。</p>
<p>開館25周年記念展「文学表現の可能性」(前期) 「ムットーニからくり文学館」</p>	<p>9月26日(木)～11月24日(日)</p>	<p>「自動人形からくり箱」によって唯一無二の作品世界を創り出す美術家・ムットーニ(武藤政彦)氏。小さな箱のなかで、機械仕掛けの人形、音楽、光、作家本人の語り、舞台装置が巧みに絡み合いながら物語を紡いでいくその作品は、見る者の心を強くとらえ、魅了してきました。文学を題材とした作品も数多く制作し、独自の視点と表現手法により、題材となる作品に新たな光を与えています。本展では、中原中也の詩を題材とした新作(初公開)を中心に、文学をモチーフにした作品を紹介します。</p>

事業名	開催時期	内容
<p>開館 25 周年記念展「文学表現の可能性」(後期) 「清家雪子展——『月に吠えらんねえ』の世界」</p>	<p>11 月 27 日(水)～2020 年 4 月 12 日(日)</p>	<p>漫画家・清家雪子氏とその作品『月に吠えらんねえ』を取り上げます。 『月に吠えらんねえ』は、日本の近代詩人たちが住む口（シカク：詩歌句）街を中心的な舞台として、萩原朔太郎、北原白秋、三好達治、室生犀星、中原中也など、それぞれの詩人の作品世界をイメージ化したキャラクターを登場させ、作品自体や文学史上の出来事などが融合された世界が展開する作品です。 中原中也をモチーフとしたキャラクター「チューヤ」を中心に、文学表現と清家氏独自の作品世界の造形との関わりを紹介します。</p>
<p>屋外展示</p>	<p>前期 5～10 月 後期 11～4 月</p>	<p>中也ゆかりの山口線をイメージした枕木を敷きつめている中庭では、今年のテーマ「夢」にちなんだ中也の詩を紹介します。</p>
<p>中原中也生誕祭「空の下の朗読会」</p>	<p>4 月 29 日(月・祝)</p>	<p>中也の生誕日に前庭で開催。詩の朗読を好んだ中也にならない、自作や愛読の詩を朗読する一般参加の朗読会とコンサートを行います。今年のゲストはメゾソプラノ・深川和美さんとリュート奏者・高木一郎さんです。(無料)。</p>
<p>VOICE SPACE 中原中也記念館開館 25 周年記念 西日本コンサートツアー</p>	<p>7 月 5 日(金) 山口市民会館小ホール 7 月 7 日(日) 松江 7 月 9 日(火) 広島 7 月 11 日(木) 鹿児島</p>	<p>詩人・佐々木幹郎氏を顧問として東京芸術大学音楽学部の卒業生を中心に結成された詩と音楽のコラボレーション集団 VOICE SPACE が、西日本コンサートツアーを「中原中也記念館開館 25 周年記念」と銘打って行います。中原中也の詩に基づく楽曲等を中心としたコンサートです。</p>

事業名	開催時期	内容
トーク&ワークショップ 「文学館のシゴト(仮)」	8月下旬	中原中也および関連人物の資料の修復を数多く手がけている資料修復家・秦博志氏を招き、資料の修復保存に関するトーク&ワークショップを、修復した資料が多く展示される特別企画展「富永太郎と中原中也」の会期中に開催します。当日は記念館の施設見学や資料修復に関するパンフレットの配布も行います。
公開講演	第1回 9月14日(土)	「中原中也の会」との共催により講演会を行います。
中原中也を読む会	毎月第4金曜日	教育普及事業として実施。テーマに沿った中也の詩を読み込んだり、記念館の展示を学芸員の解説とともに見学するなど、気軽におしゃべりしながら、詩の世界を楽しく味わうことができます(無料)。
第4回ぼうしの詩人賞～ あつまれ！未来の中也たち！～	募集：7月1日(月)～9月8日(日)	帽子をかぶった中也の肖像写真のイメージから名付けられた「ぼうしの詩人賞」。山口市在住の小学生、中学生を対象に、「中原中也」や「詩」に触れる機会をつくるために創設されました。入選者発表は10月、その後中也忌に合わせて表彰式・朗読会を行います。
中也忌～墓前祭と中也に捧げる夕べ	10月下旬	中也の命日10月22日前後にあたる週末に、中也が眠る「中原家累代之墓」にお参りし、夕方からは朗読やミニコンサートなどを行い、中也を追悼します(無料)。
山羊の日	12月10日(火)	昭和9年12月10日、中也の生前に刊行された唯一の詩集『山羊の歌』。中也にとって念願の第一詩集が出た記念すべき日を「山羊の日」と名付けてお祝いします。『山羊の歌』に関連する特別展示、来館者プレゼントを予定しています。

山口情報芸術センター[YCAM]

事業名	開催時期	内容
YCAMスポーツハッカソン 2019 第4回未来の山口の運動会	5月3日(金・祝)～5月5日 (日・祝)	近年、スポーツ庁が本格的にスポーツクリエイションに取り組む事業の募集を開始するなど、スポーツの新たな側面を開拓することへの関心は高まっています。YCAMではこれまで培った知見や技術力を活かし、メディア・テクノロジーを駆使して新たなスポーツを作り出すスポーツクリエイションイベントと、そのスポーツを多くの市民と体験する運動会を開催します。
未来の山口の授業	6月～2020年1月	YCAMがこれまでに開発した、「人と「社会」「身体」「メディア・テクノロジー」との関わり方をテーマにしたワークショップを実施します。参加者は自分の好奇心から出発し、スタッフとともに考え、試行錯誤していくプロセスを経ることで、学校とは違う「学び」を得ていく取り組みです。
過去の委嘱作品の展示 「CLOUD FOREST」	6月1日(土)～11月24日 (日)	委嘱作品の修復・整理・保存事業によって再展示が容易になった過去の作品を再展示します。文化庁がメディア芸術作品の保存、知識・技能の継承支援を打ち出している今、YCAMが修復した作品を、資料を交えながら展示することで、こうした分野の取り組みを牽引します。
真夏の夜の星空上映会	8月9日(金)～8月11日(日)	中央公園の芝生の上で映画を鑑賞いただく無料上映会を開催します。通常のYCAMシネマでは上映されることの少ない、一般に認知度の高くエンターテインメント性の強い作品を中心にセレクトし、子どもから大人まで幅広い層に向けて新たな映画の鑑賞環境を提供します。
YCAM 爆音映画祭 2019	8月29日(木)～9月1日(日)	YCAMの充実の音響環境を使用し、映画を大音量で鑑賞する特集上映イベントです。音響という新たな観点から映画を楽しむ場を提供し、映画愛好家はもちろんのこと、普段映画を見る機会が少ない方へもアプローチを図ります

事業名	開催時期	内容
<p>集中ワークショップ 「SFPC Summer 2019 in Yamaguchi」</p>	<p>9月4日(水)～9月13日(金) (予定)</p>	<p>SFPC とは、ニューヨークに設立された期間限定のアートスクールです。本事業では、SFPC の講義と YCAM が開発したワークショップを組み合わせた 10 日間のプログラミング教育集中ワークショップを実施します。その内容は動画アーカイブ等を通じて教育現場やアーティストに対しても広く公開し、参加者のみならず多くの人の創造性・好奇心を育みます。また、YCAM を「アジア圏におけるメディア・テクノロジーを使用するアーティストらの交流拠点」として外部へ発信します。</p>
<p>展覧会「contact Gonzo × YCAM バイオ・リサーチ展」(仮称)</p>	<p>10月12日(土)～2020年1月19日(日)</p>	<p>YCAM は開館以来、身体とテクノロジーをテーマに多くの作品を生み、研究開発を行ってきました。本年は、身体の「接触」に基づく即興的なパフォーマンスを中心に舞台芸術と現代美術を横断した作品を発表しているコンタクト・ゴンゾをコラボレーターに迎え、YCAM バイオ・リサーチの経験や知見を活かして新しい表現を試みます。そして、ゲノム編集や再生医療などバイオテクノロジーによって生命の定義が書き換えられつつある時代における身体の在り方について考え、その可能性を提示します。会期中には展示やライブパフォーマンス、バイオの世界を身体的に体験してもらえるようなワークショップを実施します。</p>
<p>YCAM バイオ・リサーチ・オープンデイ</p>	<p>10月～平成32年1月</p>	<p>YCAM バイオ・リサーチは、バイオテクノロジーの応用可能性を模索するプロジェクトであり、現在ではアート表現への応用にも着手しています。本事業では、バイオリボの基本的な機材を紹介するバイオリボツアーやバイオテクノロジーに気軽に触れることのできるミニワークショップなどを実施し、子どもから大人まで参加できる場を創出します。</p>

事業名	開催時期	内容
新作音響作品「名称未定」	11月16日(土)	ボイスアーティストとしてコンサート、レコーディング、展示作品とマルチな形態での活動を模索する細井美裕と、パーカッショニストとしてジャズ界で期待される石若駿を中心としたライブ作品を制作、発表します。
パフォーミングアーツ招聘公演	未定	今までの舞台芸術のジャンルを刷新するような表現や、テクノロジーを融合した製作方法試みている作品を、劇場作品の枠にとられず、ツアーや観客体験型など様々な形態を通じて観客へ紹介します。
YCAMオープンラボ 2019	11月16日(土)~11月17日(日)	多岐に渡る YCAM の活動を展示やライブコンサート、ワークショップなどを通じて体験できる複合型イベントです。3回目の開催となる今回は、「バイオテクノロジー」に取り組む文化機関からゲストを招聘し、ディスカッションを通して「これからのラボ」の姿を描き出します。
ライブコンサート 「sound tectonics(サウンドテクトニクス)」	12月中旬(予定)	国内外で活躍する演奏家を招き、YCAM の建築特性や音響特性を活かしたオリジナルプログラムを制作・展開し、これまで地方都市では触れる機会の少なかった音楽ジャンルを紹介する機会を提供します。
委嘱作品の修復・整理・保存	通年	YCAM が発表した過去の作品の状態を整理・修復することで、国内外での巡回展示を実施しやすい環境を構築します。その結果、国内外の芸術文化関係者に向けて YCAM をアピールできるとともに、「山口から世界へ」という開館以来のミッションの遂行につながる取り組みです。

事業名	開催時期	内容
教育普及総合	通年	YCAM のイベントを鑑賞者とともに作り、学ぶ鑑賞環境を創出するイベント等を実施します。具体的には、参加者と共に作品を鑑賞しながら議論を行うギャラリーツアーや、作品を作る過程を市民に公開し制作に用いる新しい技術・作品のコンセプトを解説するバックステージツアーを実施します。
RADLOCAL Practice(ラッドローカルプラクティス)	通年	近隣の大学・高校をメインターゲットとし、リサーチに軸を置いた年間プログラムを実施します。参加者は YCAM のプログラムやグループワークを通じて、物事の多面的な側面を深く理解するための身体性・能力を身に付けます。そしてそこから生まれたアイデアを地域をフィールドとし、実践・発揮できるような育成の場となることを目指します。
YCAM シネマ	通年	山口市内に残る唯一の常設映画館として、多様な映画から独自にセレクトした良質のプログラムを継続的に展開し、市民に届けます。映画監督や出演者によるトークイベントも適宜開催し、観客の映画芸術や映画文化、作品に対するさらなる興味・理解を促します。
プロモーション事業	通年	YCAM の多岐に渡る活動の内容や魅力を、ポータルサイトはもちろんのこと、テレビや新聞をはじめとするマスメディアやウェブマガジンなどのオンラインメディアへの広告出稿を通して発信していきます。またそれと同時に、マスメディアなどでは伝えきれない YCAM の多様な文脈やアウトプットを発信する手段として、ガイドブックを制作します。このような多様なアプローチにより、幅広い層への情報発信を積極的に進め、YCAM に対する理解度を高めていきます。